



公式 SNS 運用告知



日本技術士会金属部会 

401 件のポスト



日本技術士会金属部会  @pe_metals_O · 4月19日

 金属に関わる技術者・研究者・学生の皆さんへ

日曜日なので、少しゆったり時間を作ってチェックしてみませんか？

日本技術士会金属部会の
公式note と 公式Facebookをまとめてご紹介します！

▼ 公式note
技術士（金属部門）に向けた実践的な情報が満載です。

- ・私が技術士になった訳（リアル体験談）
- ・第一次試験の効率的な対策
- ・第二次試験の選択科目（金属材料・表面技術・金属加工）の決め方
- ・必須科目Ⅰ、選択科目Ⅱ-1・Ⅱ-2・Ⅲの解答の型と効率的な対策
- ・熱処理・防食など金属基礎知識

noteではじっくり深く読める内容をお届けしています。

 note.com/pe_metals_o

▼ 公式Facebook
現場・研究・マネジメントでの技術判断や倫理的な葛藤、
技術士としての成長過程、試験受験時の心理的リアル体験を発信中。

 facebook.com/profile.php?id...

- ・勉強でぶつかった壁と乗り越え方
- ・技術士としての日々の判断や成長

一人で頑張るのが大変な方にこそおすすめです。

公式noteとFacebookの両方を活用すれば、技術士（金属部門）への道がぐっと近づきます！

もちろん他部門にチャレンジの方にも参考になります。

気になった記事やご質問、「こんなテーマを知りたい」などあれば、ぜひコメントください♪

#技術士 #金属部門 #技術士試験



**日本技術士会金属部会の
公式note** 
好評運用中！

技術者の **学びと成長**をサポートする情報を
わかりやすく、深くお届けします。

**柱① 金属の基礎知識**
試験に役立つテーマを厳選！

**柱② 効率的な学び方**
合格に近づくヒントが満載！

**日本技術士会金属部会
公式Facebook運用中！** 

金属に関わる技術者の**挑戦と成長**を、共に。

**現場**

**研究**

**マネジメント**

現場・研究・マネジメントの先に、
技術者としての未来がある。

#技術士 #金属部門 #第一次試験

技術士試験関連告知



日本技術士会金属部会 @pe_metals_O · 3月28日



技術士二次試験は、
受験申込書の段階で既に始まっています🔥

- ✅ コンピテンシーをどう表現するか
- ✅ 「自分の判断と行動」が見える書き方
- ✅ 失敗パターンの把握
- ✅ 2026コンピテンシー改定も意識

技術士自身の受験経験をもとに、
受験申込書作成のポイントと書き方の一例を紹介します！

申込書は「試験全体の設計図」

- ・論文の軸
 - ・口頭試験の台本
- になる重要な書類です。

特に大事なのは、
「業務経歴」と「業務内容の詳細(720字以内)」

ここに書いた内容は
口頭試験でほぼ確実に深掘りされます。

申込受付は

- ・郵送⇒4月1日(水)～4月15日(水) (消印有効)
 - ・WEB⇒4月1日(水)9:00～4月14日(火)17:00
- ※WEB受付締切は、郵送受付締切日より1日早いので要注意！

あとわずか2週間！

「あっという間に締切が来る」と後悔しないよう、
今から計画的に進めましょう。

金属部門を受験される皆様が、
ご自身の経験を「技術士らしいコンピテンシー」として
表現できる申込書を作成する一助となれば幸いです。

詳細はnoteで📌

note.com/pe_metals_o/n/...

#技術士 #技術士二次試験 #金属部門 #技術士受験申



イベント告知



日本技術士会金属部会 @pe_metals_O · 3月9日



技術士試験は

「合格したら終わり」だと思いませんか？

実はそこから

技術者としての行動が大きく変わります。

3/13 日本金属学会 春期講演大会

企画シンポジウム

「What's 技術士？」

当日の講演を少しご紹介します。

■技術士制度と技術士

合格を契機に

- ・課題を俯瞰する力
- ・社会との関わり
- ・技術者としての責任

を意識した行動へ変わり、

新たな資質能力が磨かれていきます。

■地域活動と技術士

技術士会などの活動への参加は

- ・技術士同士の交流
- ・継続的な研鑽
- ・新たな挑戦

につながります。

技術士のリアルな姿の活動をぜひ

お聞きください。

そして、登壇者と意見交換をして

技術士資格の魅力を知ってください！

#日本金属学会

#春期講演会2026

#技術士

#金属部門



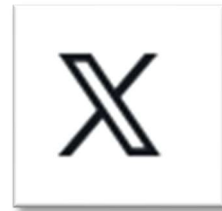
技術士試験激励・合格祝い



日本技術士会金属部会 @pe_metals_O · 2月24日

本日、令和7年度技術士第一次試験の合格が発表されました。
金属部門で合格の栄冠を手にした皆様、本当に素晴らしいです！
基礎から専門まで幅広い知識を身につけ、見事突破されたその努力に敬意を表します。
これで技術士への道がまた一步近づきましたね。
金属部会は、皆様の次の挑戦を全力で応援します！
合格おめでとうございます！！

#技術士 #第一次試験 #金属部門 #合格発表



日本技術士会金属部会 @pe_metals_O · 2025年11月23日

【本日！技術士第一次試験（金属部門）】
あなたが鍛えてきた知識は、すでに高靱性の材料です。 多少のプレッシャーでは破壊しません。
迷ったら、ひと呼吸。
粘り強く、延性を発揮して最後まで乗り切ってください。
行ってらっしゃい、未来の金属技術士！
健闘を祈っています。



日本技術士会金属部会 @pe_metals_O · 2月24日

金属部門合格おめでとうございます！
金属部会一同とても嬉しいです。
合格の勢いをそのまま第二次試験へ！
金属部会公認の会 YES-Metals！技術士試験WGでは
・先輩技術士(金属部門)のアドバイス・メンター
・技術士を目指す仲間同士の情報交換 など
【金属部門に特化】したサポートをしています！
お問い合わせは⇒ yesmetals@gmail.com
詳細（会合スケジュール・参加方法）をお送りします。
一緒に金属の未来を担う技術士を目指しましょう！

#技術士 #金属部門 #技術士第一次試験合格



公式 note 紹介

note

日本技術士会金属部会が公式noteはじめます。

♡ 8

 日本技術士会金属部会
2025年12月3日 23:05

近年、社会構造や産業構造の変化にともない、技術者に求められる役割は一層高度かつ多様化しております。とりわけ、学歴や所属組織といった外形的要因ではなく、個人としての専門性・判断力・倫理観・問題解決能力が強く求められる時代となりました。

これらの能力を国が正式に認める国家資格が「技術士」です。

とりわけ技術士（金属部門）は、産業の根幹をなす極めて重要な“金属”に関する高度な専門性に加え、信頼性・発信力・国際性を兼ね備えた技術者であることを示す、きわめて価値の高い資格です。

一方で、

「技術士ってどんな資格？」

「技術士試験は難しい！」

「仕事が忙しくて勉強する余裕がない！」

と感じる方も多いかもしれません。

この公式noteは、そのような疑問や不安を少しでも軽減し、金属に関わる技術者・研究者・学生の皆様にとって、「まずはのぞいてみよう」「一緒に成長してみたい」

と思っていただける場となることを願い開設いたしました。

この公式noteでは、次のような基本的な疑問に丁寧にお答えしてまいります。

- ・「そもそも技術士とは？」「どうやって目指すのか？」
- ・「日本技術士会および金属部会はどのような活動をしているのか？」
- ・「技術士はどのような場面で社会に貢献しているのか？」

さらに、特に注力して発信していく内容として、“2つの柱”を掲げています。

このnoteでお届けする“2つの柱”

- ・ 技術士試験に役立つ金属の基礎知識
- ・ 効率的に合格をめざすための学び方・工夫の提案

これらの情報を通じて、限られた時間の中でも挑戦を続ける皆様を支え、学びが確実に前へ進むよう、有益なコンテンツをわかりやすく丁寧に発信してまいります。

日本技術士会金属部会は、金属ものづくりの現場や社会課題に真摯に向き合う技術者が集い、互いに知見を広げ、専門性を更に高められるコミュニティです。

興味を持ち始めた方、技術士を目指す方、さらなる専門性の向上を図りたい方など、どなたにとってもこの公式noteが「次の一步」を踏み出すきっかけとなれば幸いです。

今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。

技術士資格取得促進

-技術士を目指すと若手エンジニアは何が変わる？

♡ 8

日本技術士会金属部会
2026年3月7日 12:31

技術士を目指すと、若手エンジニアの仕事の見え方は確実に変わります。これまで当たり前にごなしていた業務の見え方が変わります。「与えられた仕事」だったものが、「自ら価値を生み出す仕事」へと変わります。そして、日々の経験が将来につながる資産だと気づきます。

これまで何となくこなしていた仕事も、技術士のコンピテンシーに照らしてみると、まったく違って見えてきます。トラブル対応は「問題解決能力」の実践であり、関係者との調整は「コミュニケーション力」の発揮です。安全への配慮や説明責任は、「倫理観」や「社会的責任」と直結しています。一つひとつの業務が、ただの作業ではなく、自身の成長につながる重要な経験だったと気づくのです。

以前こちらのコラムで、私自身の技術士試験への挑戦について書きました。一次試験こそ一度で通過したものの、二次試験では三度挑戦し、三度とも不合格という結果でした。

当時は悔しさばかりが残りました。しかし、今振り返って強く感じるのは、不合格という結果以上に、試験対策の過程そのものに大きな意味があったということです。

論文を書くために自分の業務を振り返り、構造化し、背景やリスク、社会的影響まで考え抜く。その積み重ねが、仕事の質を引き上げていました。会議での発言は本質的になり、報告書は整理され、判断の根拠は明確になってきました。自分でも、業務のレベルが一段上がっていることを実感できました。

技術士制度は、公益社団法人日本技術士会が関係する国家資格ですが、その本質は試験合格そのものではありません。求められるのは、専門知識に加え、安全性・経済性・社会性を踏まえて判断できる力です。

だからこそ、若手は変わります。「作業」から「判断」へ。「部分最適」から「全体最適」へ。「知っている」から「説明できる」へ。

技術士を目指すとは、資格取得の挑戦であると同時に、自らを“社会に責任を持つ技術者”へと引き上げるプロセスです。

合格する前から、人は変わり始めます。その過程こそが、若手エンジニアを一段高いステージへと導くのです。

note



技術士資格取得促進

note

私が技術士になった訳 1

♡ 9



日本技術士会金属部会
2026年2月19日 19:33

この投稿をご覧いただいている皆さんは、きっと技術士という資格に少なからず関心をお持ちの方だと思います。私自身も、あるきっかけで技術士を知り、気づけばその道を歩むようになりました。今回は、私が技術士を目指すことになった理由を、少しお話ししたいと思います。

私は入社以来、半導体の技術者としてキャリアを積んできました。現在は、電気自動車や鉄道といった社会インフラを支えるパワー半導体の開発に携わっています。省エネや脱炭素に貢献できる製品づくりに関われることは、技術者として大きなやりがいです。自分の仕事が未来の社会を少しでも良くする一助になっている——そう感じられる瞬間が、日々の原動力になっています。

そんな私が技術士という資格を知ったのは、ある日の上司の一言でした。

「技術士を目指してみたらどう？」

その言葉は私の中では強く響きました。というのも当時の私は、自分の技術力を客観的に評価できる指標が欲しいと感じていたからです。その頃、技術者と経験を積むほどに、技術者としての責任の重さを実感し、「自分の判断は本当に正しいのか」「もっと広い視野で考えるべきではないか」と自問することが増えていました。

技術士という資格は、単なる知識の証明ではなく、技術者としての姿勢や倫理観まで問われるものだとなりました。

「これは、自分が目指す技術者像に近づくための挑戦になるかもしれない」
そう思い、受験を決意しました。

私が技術士になったわけ



道のりは決して平坦ではありませんでした。一次試験こそ一度で通過したものの、二次試験では3度挑戦して3度とも不合格。結果を受け取るたびに悔しさが込み上げ、技術者としての力不足を突きつけられたような気持ちになりました。

それでも挑戦を続けられたのは、「技術者として胸を張りたい」、「合格通知を受け取りたい」という思いが、心のどこかでずっと支えてくれていたからです。夢に見ることもありました。

二次試験の受験番号で合格を見つけた日のことは忘れません。こみ上げてきたのは喜びよりも、安堵感、そして、「ここからがスタート地点」という決意でした。

私が技術士になったわけ。

それは、技術を通じて社会に貢献したいという思いを、形として示したかったからです。そして今も、その思いは変わりません。むしろ、技術士としての責任を背負ったことで、より強くなっていると感じています。

技術士資格は、まだまだ世の中での認知度は高いとは言えません。だからこそ、今後は自己研鑽を重ね、技術の伝達を周囲や後進に行い、技術士資格を取ることの良さを自ら証明できるような、そんな技術士になれるよう精進していきます。

最後に、きっかけを与えてくれた上司、今までご指導いただいた方々、そして応援してくれる家族に、心から感謝の意を記します。

以上、簡単ではありますが、「私が技術士になったわけ」を記載しました。

公式 Facebook 紹介



日本技術士会金属部会

1月3日 · 🌐

...

技術は、判断で社会とつながる。

このページでは、金属に関わる技術者・研究者の視点から、技術士（金属部門）が大切にしている技術判断・倫理・責任の考え方を発信していきます。

資格制度の説明だけではありません。

- ・なぜ技術士をめざしたのか
- ・いつ受験を決断したのか
- ・その判断の背景に、どんな迷いや葛藤があったのか

現場・研究・マネジメントの中で直面した技術判断や倫理的な問い、そして技術士として成長してきた過程を、実体験をもとに共有していきます。

金属に関わる技術者・研究者は、日々、判断を求められています。
材料選定は妥当か。

強度や寿命を、どこまで説明できるのか。

不具合が起きたとき、何を根拠に判断するのか。

技術士試験は、知識量を競う試験ではありません。

「なぜそう判断したのか」

「その判断は、社会に対して説明できるのか」

そうした考え方と責任に向き合う試験です。

このFacebookページでは、Xやnoteでは伝えきれない、技術者・研究者が現場や研究の中で抱える迷い、葛藤、判断の背景を、技術士（金属部門）の視点で丁寧に発信していきます。

すぐに受験を決めなくても構いません。

ただ、

「いつか受ける」ではなく、「なぜ受けるのか」を考えるきっかけになればと考えています。

技術士（金属部門）をめざす全ての方へ。

静かに、しかし確かな一歩を、

ここから一緒に考えていきましょう。

技術士試験受験を後押し



日本技術士会金属部会

1月31日 · 🌐

40代・50代になってから、
「今さら一次試験なんて無理だな...」
そう感じていませんか？

仕事は忙しい。家庭もある。
大学で学んだ内容も、正直ほとんど覚えていない。
私自身も、まさにそうでした。

私が一次試験を意識し始めた頃、
まず頭に浮かんだのは、不安ばかりでした。

- ・専門科目（金属）は、大学以来ほとんど触れていない
- ・基礎科目は、正直ほぼ記憶にない
- ・毎日忙しくて、勉強時間が取れない
- ・一からやり直す気力もない

おそらく、多くの管理職・中堅技術者の方が、
同じように感じているのではないのでしょうか。

私も、
「これは無理だな...」
と何度も思いました。

現場経験には自信がある。
でも、試験となると別の話。

「今さら学生時代の勉強をやり直すのは大変すぎる」
そう感じて、なかなか一歩が踏み出せませんでした。

それでも心のどこかで、
「このままでいいのだろうか」
という思いもありました。

でも信頼される技術者として、
もう一段ステップアップしたい。

そんな気持ちも、正直ありました。

次回は、
そんな私が「これなら挑戦できるかもしれない」と
考えが変わったきっかけについて書きたいと思います。



技術士試験受験を後押し



日本技術士会金属部会

2月1日 · 🌐

...

～それでも挑戦できると思えた理由～

前回、私は、「正直、一次試験は無理だと思っていた」という話を書きました。

では、なぜ私は、「チャレンジしよう！」と思えるようになったのか。きっかけは、とてもシンプルでした。

私がまずやったのは、

「とりあえず過去問を見してみる」ことでした。

勉強を始める前に、

まず“敵を知ろう”と思ったのです。

すると、意外な発見がありました。

基礎科目、専門科目とも

- ・思ったより解けそうな問題がある
 - ・同じテーマや、類似な問題が何度も出ている
 - ・現場経験が活きる問題も多い
- でした。

基礎科目は範囲が広く、最初は圧倒されました。

しかし、数年分を並べて見ると、出題の傾向が少しずつ見えてきます。

そこで私は、

「全部を完璧にやる」ことをやめました。

代わりに、

- ✓ 過去問を中心に
- ✓ 出やすい分野を整理し
- ✓ スキマ時間で繰り返す
- ✓ 出題される可能性がありそうな範囲に絞込む

この形に切り替えました。

すると、

「一からやり直さなくても、何とかなるかもしれない」

そう感じられるようになったのです。

しかも、合格ラインは50%以上！

完璧を狙う、満点を取る試験ではありません。

日常業務が忙しい、仕事と家庭の両立、卒業してから年月が経った社会人でも、工夫すれば十分に届く試験です。

私自身、特別な才能があったわけではありません。

ただ、過去問を味方につけただけです。

「自分も同じだな」と感じた方は、まずは数年分の過去問を眺めてみてください。

そこから、すべてが始まります。

金属部会として、挑戦する皆さんを、これからも応援しています。



金属部会公式 SNS



https://x.com/pe_metals_0

または



https://note.com/pe_metals_o

または



<https://www.facebook.com/profile.php?id=61586005917926>

または



日本技術士会金属部会

で検索